

- 〈徳〉 やさしく～夢を持ち続ける子の育成  
〈知〉 ただしく～自ら進んで学ぶ子の育成  
〈体〉 たくましく～最後までやりとげる子の育成

## いよいよ夏休み

校長 渡 辺 敬 方

いよいよ夏休みが始まります。今年度は、例年より1週間も長い32日間の休みになります。ここ数年の夏の暑さを考え伊達市の学校は、例年より長い夏休みとなりました。児童生徒の皆さんにはぜひ有意義な日を過ごしてほしいと思います。

1学期の授業日は74日間でした。その中には、6月1日（土）に行った運動会。少し寒かったですが児童生徒の頑張りがとても感じとれました。6年生と中学校3年生は大きな旅行行事の修学旅行に行きました。小学生も中学生もそれぞれに楽しい思い出ができたようです。

さて、これから紹介する「子育て四訓」は、山口県の方が長い教員経験を踏まえてまとめたものだそうです。かつて校内暴力や破壊行為、問題行動などで、教育現場にとって苦難の時代がありました。その中で、さまざまな子どもたちの家庭や親子関係を見ると、その問題行動が人間愛、親子愛の欠落に起因している部分が多いと痛感したそうです。夏休みを前にあらためて学校として、地域社会として親子の関係について考える大切な時間と言えます。

### 《子育て四訓》

- 1 乳児はしっかり肌を離すな
- 2 幼児は肌を離せ、手を離すな
- 3 少年は手を離せ、目を離すな
- 4 青年は目を離せ、心を離すな

特に中学校の時期はとりわけ「少年は手を離せ、目を離すな」の時期でしょう。中学生は家族、友人、地域など、他者とのかかわりのなかで社会性が育つ時期です。ここではしっかり手を離して活動範囲を広げてやる必要があります。

一方、この時期は成長とともに子どもが親に反抗するなど心が不安定になりがちな時期です。このことは、親や友人に「こちらを向いてほしい」というメッセージを送っているのかもしれない。それは成長の過程であり、しっかりと子どもに向き合い、共に成長することを心がける時期なのかもしれません。

もちろんこの「四訓」の言葉だけで言い尽くされ、うまくいくものではありません。しかし、1学期間の振り返りと子供たちとの関わりについて考えるいい機会になればと思います。

子供に関わる大人たちが互いに連携・協力し、「未来の宝」である子どもたちを共に育てていきたいと思えます。

## 修学旅行 in 函館

7月4日（木）～5日（金）に小学6年生が函館へ修学旅行に行きました。1日目は函館朝市・はこだてみらい館・五稜郭公園・五稜郭タワー・熱帯植物園を見学しました。そして夕食後に函館山からの夜景を楽しみました。

2日目は函館元町を散策し、金森倉庫・ラッキーピエロでの昼食を楽しみ、函館の地を後にしました。

移動の列車内でのおやつ交換や、見学時の集団行動、たくさんの施設での見学など思い出深い修学旅行となりました。



## 東北を振り返る 修学旅行報告会

7月18日（木）に中学3年生が修学旅行報告会を行いました。修学旅行で行った自主研修について、相手に伝わるように発表の仕方を工夫していました。中学3年生にとっては、2泊3日の修学旅行で学んだことを振り返る、中学1・2年生にとっては修学旅行の事前学習にもなる時間でした。



## 8月行事予定

【夏季休業 7月26日～8月26日】

- 9日 校長会役員会
- 11日 山の日
- 12日 振替休日
- 13日 学校閉庁日 ～16日
- 21日 定例校長会
- 23日 校長会役員研修会
- 26日 小中部会・校務部会・研修日  
校長会学校運営研修会
- 27日 2学期始業式 12:00下校  
職員会議
- 28日 学力テスト（中） 定例教頭会
- 29日 校長会管内研修会
- 30日 避難訓練（不審者） 防犯教室  
児童生徒会

## 全校交流 ASOBIBA

7月19日（金）、児童生徒会主催による「ASOBIBA」を開催しました。「自分たちで楽しめることを自分たちの力で企画する」というねらいのもと、児童生徒会の役員が準備を進めてきました。

全校児童生徒を混成6チームに分け、互いに協力しながら風船バレーを楽しみました。



## 伊達市の熱中症対策

1. 熱中症特別警戒アラート（暑さ指数35以上）が発表されたとき（前日14時頃道の発表）→臨時休校になります。
2. 熱中症警戒アラート（暑さ指数33以上）が発表されたとき（前日17時頃、胆振地域での発表）→基本的には学校を行う予定ですが、伊達市の状況によっては臨時休校にする場合もあります。当日の朝の判断になる場合もあります。